

図書館からのお知らせ

《りづらんの開館時間》

- 9月3日(休)から
- ▷ 平日 午前10時～午後7時
- ▷ 土曜日・日曜日・祝日 午前9時30分～午後6時
- エントランスの開館時間
- ▷ 平日 午前9時～午後9時
- ▷ 土曜日・日曜日・祝日 午前9時～午後9時

《大人向け上映会》

新型コロナウイルス感染症防止対策として、人数を制限して上映します。マスクを着用のうえ、ご覧ください。

- 人数 各回先着25人

《地域交流会議室1月～3月分の利用申請を受け付けます》

- 受付期間 10月1日(休)～11日(日) (休館日を除く)

《「だれでもブックデザイナー」を開催します》

ブックカバーイラストを募集します。オリジナルの絵やイラストを8つ切画用紙に描き、図書館まで提出してください。作品は、図書館エントランスで展示します。

- 提出期限 9月24日(休)
- 展示期間 10月8日(休)～11月9日(月)

※作品の提出方法など詳しくは、お問い合わせください。

今月のテーマ展示

大人向け



日本語を楽しむ

文化・読書の秋がやってきました。そこで今月は、日本語の奥深さを楽しめる作品を集めました。日本語特有の雰囲気味わってみるのはいかがでしょうか？

子ども向け




「動物まつまわ」

動物の名前をいくつ知ってるかな？かわいい・おもしろい動物が登場する絵本や図鑑を集めました。たくさん読んで、いろんな動物を見つけに行こう！

※ホームページでもオススメの本を紹介しています。

おすすめ新刊


《一般図書》



「カビの取扱説明書」 浜田 信夫

毒性のあるカビから食品に使われるカビまで「カビ」にはいろいろな種類があります。カビ研究の第一人者が、さまざまな角度からカビと人間の関係を紹介しています。

《児童図書》



もじかけえほん 「かな？」 大日本タイポ組合

ページをめくると、文字が別の単語に変化するしかけ絵本です。この文字は何に変わるのかな？と予想しながら、ひとりでも、みんなでも楽しく読むことができます。

図書館カレンダー

9月	16 水	▷ 大人向け上映会 『どこまでもいこう』 りづらん 13:30～14:50
	17 木	
	18 金	
	19 土	
	20 日	
	21 祝	休館 (表郷・東)
	22 祝	休館 (表郷・東)
	23 水	休館 (全館)
	24 木	
	25 金	
	26 土	
	27 日	
	28 月	休館 (りづらん・大信)
	29 火	休館 (表郷・東)
	30 水	休館 (東)
10月	1 木	
	2 金	
	3 土	▷ 大人向け上映会 『手塚治虫が消えた!? 20世紀最後の怪事件』 りづらん 13:30～14:10
	4 日	
	5 月	休館 (りづらん・大信)
	6 火	休館 (表郷・東)
	7 水	休館 (りづらん・表郷・大信)
	8 木	
	9 金	
	10 土	
	11 日	
	12 月	休館 (りづらん・大信)
	13 火	休館 (表郷・東)
	14 水	

【各図書館の問い合わせ先／開館時間など】

- りづらん ☎③3250 / 10:00～19:00
※土・日・祝日は9:30～18:00開館です。
- 表郷図書館 ☎③4784 / 10:00～18:00
- 大信図書館 ☎④63614 / 10:00～18:00
- 東図書館 ☎③41130 / 10:00～18:00

※最新の情報は、図書館にお問い合わせいただくか、ホームページや館内掲示板をご確認ください。



小峰城よもやま話

第六話 南側を防御する小峰城の時代

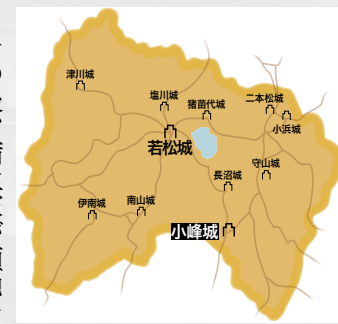
小峰城は、丹羽長重が土塁の城から石垣を多用した城郭に大改修しました。特に城郭北側の防御を重視していますが、これは北東北の外様大名に備えた「奥州の押さえ」として、江戸防衛ラインの一拠点に位置付けられていたためと考えられます。しかし、いつの時代も北側の防御が重視されていたわけではありませんでした。

現在発見されている小峰城の絵図に、丹羽長重の改修以前とみられる絵図があります(左図)。丹羽家の前、会津領主蒲生家の時代(1601～1627)の様子と考えられます。この絵図を見ると、城下町の東側・西側・南側をぐるりと囲む「土塁」(赤色の矢印)がみえます。この土塁は、城郭と城下町を一体で防御する「惣構」と考え



▲白河城之図(部分)(宮城県図書館蔵)

られ、この時期の小峰城の特徴とみられます。加えて、惣構の方向から考えると、南側の守りを重視していたようです。なぜ江戸時代とは逆方向なのでしょうか。これは蒲生家の領地を考えると分かります。この時代、白河は蒲生家の領地の南端にあたるため、領内側の北でなく、領地の外と接する南側の守りを重視したと考えられます(左図)。



▲蒲生家の領地(60万石)と城郭・主要道

その後、蒲生家が領地を没収されて白河藩が成立すると、小峰城は「奥州の押さえ」として、今度は北側の防御が重視されるようになります。このように、小峰城は大名の支城として領地を守るための城から、大名の居城として幕府の戦略上重要な城として位置付けられ、より大きな役割を果たすようになったといえるでしょう。

文化財課 ☎2310

白河、あの頃と今

今月のテーマ「白河提灯まつり」

Vol. 1



市内の様子や行事などを写した古写真の中から、テーマに沿った1枚を紹介し、現在の様子と比較します。タイムスリップ気分を味わいながら、白河の魅力を再発見しませんか？ 本庁舎秘書広報課 内2171



【昭和49年の様子】

約360年にわたり、世代をこえて受け継がれてきた伝統の行事。大きな見どころのひとつが、阿武隈川の渡河です。今から46年前に行われた時は、川が深く、流れが急だった様子が写真からうかがえます。



【平成30年の様子】

阿武隈川を力強く渡る姿と、提灯の明かりが醸し出す幻想的な雰囲気。後ろに写る橋を渡る提灯の明かりも、かすかに見えます。伝統が、現在にもしっかりと受け継がれていることを感じる一枚です。